

# 広島大病院 新診療棟 9月20日(金)オープン

## 高度医療をより優しく、より快適に。

広島大病院(広島市南区)の新しい診療棟が20日、オープンする。高度医療を必要とする患者がより快適に受診できるような院内の配置を工夫。基本コンセプトには「グリーンホスピタル」を掲げた。広島東洋カープやサンフレッチェ広島の本拠地である地域性を生かし、中四国地方で唯一の「スポーツ医学センター」を開設するなど独自色を発揮。がん治療拠点やドクターヘリ実施機関としても重要な役割を担い、広島の医療を支え続ける広島大病院に期待と注目が集まっている。

(吉村明)



## 先進的な診療に加え 利便性も配慮

広島大病院 茶山一彰病院長



新しい診療棟で一番重視したのは「患者さんに優しく、分かりやすい病院」です。より高度な医療をいかに受けていただきたい。そのために、院内の配置を工夫し、医科と歯科を二つの棟に収容しました。

先進的な診療に加え、利便性にも配慮しました。手術室や抗がん剤治療用のベッド・チェアなどを増設。患者さんのプライバシーに心を配り、医科の診察室を個室に、歯科も仕切りを設けています。

中央受付の混雑解消にも取り組みました。これまで中央受付で一括して受け付けから料金計算をしていましたが、今後はいくつかの診療科の受付を集めたプログラム受付け、料金計算までできるようにしました。

車の渋滞対策では、午前中に集中していた外来を午後にも振り分け、混雑解消を図ります。また、約1800台の立体駐車場を増設中です。同時に、マイカーでの来院を抑制するために、外来受診者の駐車料金を有料化する予定です。

広島大病院ではトップアスリートのトータルケアの経験に基づいた情報収集・発信をする「スポーツ医学センター」や再生医療などに取り組む「未来医療センター」を設置しました。こうした特色に加え、広島大病院では医師や看護師らによる「全人医療」を掲げています。人を人として捉え、一つの疾患だけを相手にするのではなく、人間として見ていけるような人材育成に力を入れています。

新診療棟のオープンを機に、特定機能病院として、高度医療の開発、提供をスームスに行える病院を目指すしていきたいと考えています。

## 広島大学病院 新診療棟

# 9月20日(金)開院

HIROSHIMA UNIVERSITY HOSPITAL

### 本院の理念

全人的医療の実践  
優れた医療人の育成  
新しい医療の探求

### 行動目標 基本方針

1. 医学・歯学・薬学・保健学の統合による新しい医療の開発と提供に努めます。
2. よく理解できる安全な医療の提供に努めます。
3. 温かい心と倫理観を持つ医療人の育成に努めます。
4. 平和につながる国際的医学教育・研究の展開に努めます。

### 9/17(火)、18(水)、19(木)休診のお知らせ

新診療棟への移転作業のため外来診療を3日間休診します。ご迷惑をおかけしますがご理解くださいますようお願いいたします。

広島大学病院

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 代表電話 082-257-5555

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/>

# 「患者・来院者に分かりやすい病院」へ進化

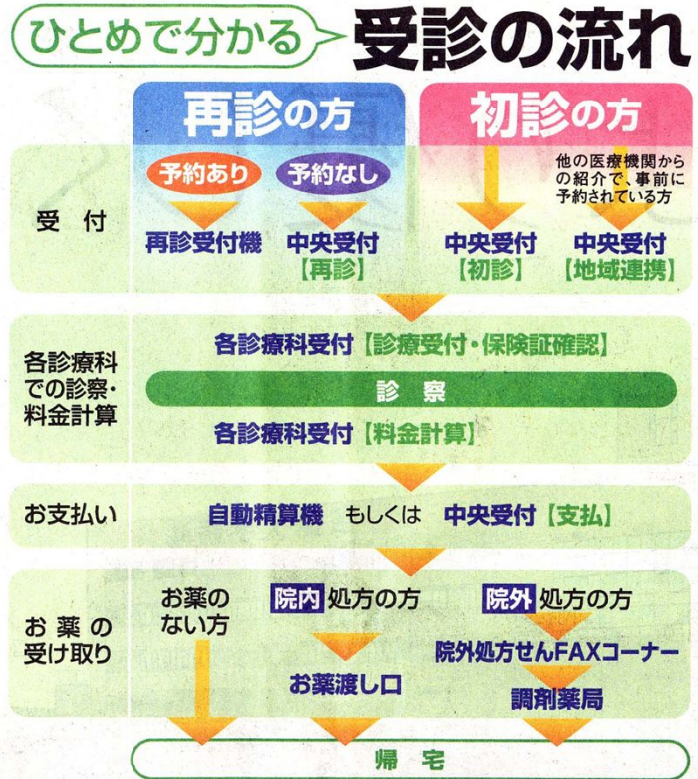
## 医科・歯科同じ棟に

### 診療機能アップ 外来1〜3階に集約

広島大病院(広島市南区)の新しい診療棟は地上5階、地下1階建て、延べ3万8560平方メートル。特に力を入れたのは「患者・来院者に分かりやすい病院」だ。これまで増築を重ねたことにより、通路が複雑に入り組んでいた構造を見直し、歯科を含め主な外来診療部門を1〜3階に集約。利便性を大幅に高めた。抗がん剤治療用ベッド・チェア数を倍増させるなど診療機能を強化。治療を受ける際のプライバシー保護に配慮した。患者の立場に立った院内の特徴を紹介する。(田儀慶樹)

### 診察室個室に プライバシー保護に配慮

主な診療科を見ると、歯科部門を置いた。検査部門については血液・尿検査は1階、心電図や超音波検査などの生理機能検査は2階といったように、それぞれ関わりが深い。抗がん剤治療を受ける外来患者の増加を受け、抗がん剤治療用ベッド・チェアをこれまで

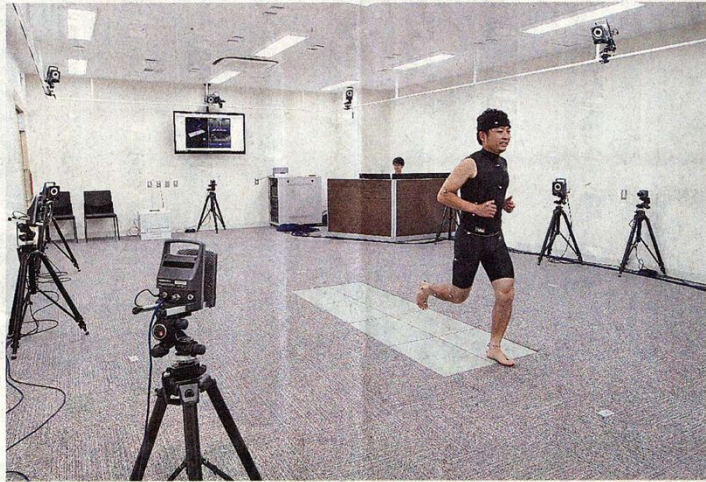


の14台から28台に倍増。同じフロアにあるがん化学療法科、緩和ケア外来と連携した診療を進める。地下1階の放射線治療センターでは、放射線出力が従来の4倍となる最新の画像誘導放射線治療装置(リニアック)を中四国で初めて導入した。4階の手術センターでは、手術室を従来より4室増やして17室に。高度医療を迅速に行える態勢を整えた。さらに、術後専用の外科系集中治療室(SICU)を6床新設するなど充実を図った。患者のプライバシー保護に配慮。医科の診察室は個室に、歯科もチェアごとに仕切りを設けた。さらに混雑解消に向け、診察の順番をお知らせする「呼出受信機」を導入。診療科のブロック受付で料金計算までできる。新診療棟は2010年2月に着工。免震装置を備え、阪神大震災クラスの地震にも対応できる。医療機器などを除く建設費は約122億円となっている。

## 診療科ブロックごと料金

計算 ↓ 中央受付の混雑解消へ

## 中四国初「スポーツ医科学センター」



動作解析用の赤外線カメラで体の動きを調べるスポーツ医科学センター

## トップ選手ケアに力

広島大病院は広島東洋カープやサンフレッチェ広島などトップ選手の手術や治療の実績がある。それら豊富な蓄積を生かし、中四国地方で初めてとなる「スポーツ医科学センター」を新設した。治療からリハビリまでのノウハウや情報を集約。トップアスリートらのトータルケアに力を入れる。

同センターの「アスリートサポートサービス」は、体力測定▽動作分析▽フィジカルトレーニング▽ボディーケアなどで構成。選手の基礎体力づくりから疲労回復までトータルでケアする。

例えば体力測定では、全身持久力やバランス、筋力などを専門機器を使って測定。結果を基に最適なトレーニング方法を提案する。また、動作分析ではハイスピードカメラを使って打球フォームを解析したり、3次元動作分析装置で競技中の関節の変化を記録したりして、パフォーマンス向上に役立てる。

培ったノウハウは、プロ選手だけでなく、地元の高校生選手などにも還元。広島界のスポーツ界を医学の側面からバックアップする。

## コンセプト「グリーンホスピタル」



四季折々の草花が彩る屋上庭園

## 緑化・光庭安らぎ空間

新しい診療棟の基本コンセプトは「グリーンホスピタル」。グリーン化技術、グリーンカーテン、グリーンアートの三つのグリーンを柱に、次世代につながる、人と環境に優しい病院づくりを目指す。

自然エネルギーを有効活用した。建物下部に雨水貯留槽を設け、トイレ洗浄水に利用する。各階には、吹き抜けの「光庭」を2カ所ずつ配置。自然の光を建物内に導く役割を果たす。光庭の上部には集光装置を設置し、より効果的に太陽の光を取り込めるよう工夫している。

屋上には太陽光パネルのほか、約40種類の植物が生い茂る庭園を開設。遊歩道やベンチを設けて患者に安らぎを提供するとともに、ヒートアイランド防止効果を狙う。東西の壁面はアイビィで緑化。空調コストの低減と癒やしの空間を創出する。

院内は緑も取り入れた落ち着いた色彩に仕上げた。グリーン(植物)を連想させるアート作品などを飾り、患者の自己治療力にも働き掛けをかける。

# 「最先端」がそろそろ充実の医療環境



外来で抗がん剤治療を受けられる化学療法室は28床と現在の2倍に



手術室17室、予備室3室を備える手術センター



個室以外の歯科診療室にも間仕切りを設けている

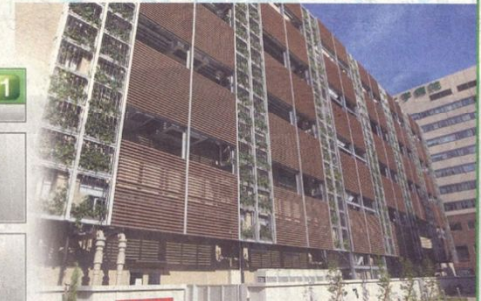


各科には個室の診療室がずらりと並び

画像診断センターのMR室。森の写真を壁にあしらうなどして、患者の気持ちを和らげる

【新診療棟フロア図】

|   |                         |  |
|---|-------------------------|--|
| 屋上庭園  | 屋上                      | 屋上庭園   |
| ●透析内科 ●がん化学療法科<br>●緩和ケア外来 ●化学療法室                        | EVホール                   | ●スポーツ医学センター<br>●病理診断科  |
| ●手術センター<br>(手術部門・外科系集中治療室)                              | 5F<br>EVホール             | ●手術センター(手術部門、IVR部門)  |
| ●歯科(11診療科)<br>●イベントホール                                  | 4F<br>EVホール             | ●小児科<br>●小児外科<br>●小児歯科   |
| ●皮膚科 ●整形外科 ●脊椎・脊髄外科<br>●形成外科 ●泌尿器科 ●精神科<br>●産科婦人科 ●乳腺外科 | 3F<br>EVホール<br>エスカレーター  | ●眼科 ●耳鼻咽喉科・頭頸部外科<br>●麻酔科 ●放射線治療科 ●放射線診断科<br>●生理機能検査 ●未来医療センター ●健康情報プラザ   |
| ●内科(9診療科)<br>●外科(5診療科) ●感染症科<br>●遺伝子診療部                 | 2F<br>EVホール<br>エスカレーター  | ●総合案内<br>●中央受付(医療相談・地域連携・初診・再診・支払・診断書)<br>●お薬・医療材料渡し口 ●院外処方せんFAXコーナー<br>●中央点滴室 ●中央採血・採尿 ●臨床研究部(治験)<br>●喫茶 ●売店・本 ●ATM |
| ●画像診断センター(放射線診断科・歯科放射線科)<br>●内視鏡診療科                     | 1F<br>EVホール<br>エスカレーター  | ●放射線治療センター   |
|   | B1F<br>EVホール<br>エスカレーター |  |



東西の壁面は緑化して省エネを図っている



小児歯科の天井には動物などの楽しいイラストも

エントランスホールからはエスカレーターで移動も楽に



※上の図で使った写真は撮影時、工事中(養生中)だったため、ブルーシートなどが取り付けられています。

## ■ 小児がん拠点病院に指定

# 中四国の16病院とネット

9

テレビ会議で中四国地方の病院と意見を交わす広島大病院のスタッフら



広島大病院はことし2月、厚生労働省から「小児がん拠点病院」の指定を受けた。全国15施設が指定を受ける中で、中四国ブロックでは広島大病院のみ。小児がん診療の中心的な役割を担う病院として、大きな期待を集めている。

小児がんは、小児が病気で亡くなる原因のトップ。年間発生件数は全国で2千～2500人、中四国地方では

200～250人と推定されている。

広島大病院は白血病など造血器腫瘍や脳腫瘍などのトータルケアの治療実績が評価された。指定を受け、中四国地方の16連携病院と「小児がん中国・四国ネットワーク会議」を発足。テレビ会議などを通じて、治療方針の検討や相談支援などに取り組んでいる。

## ■ 医師ら搭乗 ドクターヘリ運航

# 広島県全域 30分でカバー

10

患者の搬送を終え、広島ヘリポートに帰着したドクターヘリと医師、看護師ら



広島大病院はことし5月に本格運航が始まった広島県のドクターヘリの実施機関を担っている。

ドクターヘリは医療機器や医療品を装備し、救命医療のトレーニングを受けた医師と看護師が搭乗し、救急医療をする。現場でいち早く治療を開始することで救命率の向上と、後遺症の軽減が図られることが期待されている。

基地となるのは旧広島西飛行場に整備した広島ヘリポート（広島市西区）。広島大病院と県立広島病院（南区）から派遣された医師2人、看護師1人が交代で待機。消防機関の要請を受けて飛び立ち、広島大病院などの医療機関に搬送する。県内全域を約30分でカバーするほか、山口県東部、島根県中・西部も守備範囲とする。

<お知らせ> 広島大病院は医療機器の移転のため、9月17～19日は外来診療を休みます。